

## 田牛観光協会体験学習協議会主催の臨海学校で講演

5月27日（金）下田市の田牛観光協会体験学習協議会が主催する臨海学校の“海の生物に関する講話”に、講師として当场職員が招かれました。下田市田牛地区に訪れている沼津市立第五中学校2年生133名の前で、伊豆半島の岩礁域に生息する様々な生物についてお話をしました。

具体的な内容としては、潮間帯に生息する節足動物、軟体動物、棘皮動物、等の生態、海藻の分類や食用種、また、クラゲやガンガゼ等、磯観察をする上で注意すべき危険生物について説明しました。

その後、“二丁間の磯”にて、磯の自然観察が行われました。当日は朝から雨が降っており、磯観察できるか心配されましたが、午後には雨が上がり、無事、磯観察をすることができました。

「海に遊びに行く」といえば、一般的に砂浜に行く事の方が多いかもしれませんが、磯の方が様々な生物に触れることができたり、潮の干満を実感できたりと、体験できることがたくさんあります。今回の臨海学校を通して、子供たちは様々な事を経験し、大きく成長できたことでしょう。臨海学校では、磯の自然観察以外にも、貝殻を使ったキャンドル作りや海釣り体験なども実施されたとのことで、田牛の海の魅力を存分に感じたことと思います。



(写真)講話を聞く中学生

(鈴木勇己)